

1、園の保育目標

- ① よく考え、よくみつめる
- ② よく食べ、よく遊び、健康に過ごす
- ③ 友達と元気に仲良く遊ぶ

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 1. 若手保育者の育成
- 2. 環境の工夫
- 3. 担任とフリーの養護の行き届いた保育
- 4. 保護者同士のつながりの充実

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 若手保育者の育成 保育者同士の、同僚性を高めるための、語り合いや、研修に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を通して、他の保育者の気づきに目を向けた り、刺激を受けたり情報交換ができた。 ・引き続き、会議や研修時には、議論できる関係性を築 いていきたい。
2. 環境の工夫 ・こどもの遊びや興味が深まる環境の工夫 ・園庭の植物や虫などを育てながら、命の 大切さを知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児クラスでは、カタツムリの飼育を通して、生き物 に親しみを持つと共に、命の大切さに気付き、大切にす ることを知った。 ・自然などの身近な事象に興味を持ち、生長を喜んだり 取り入れて遊んだりすることができた。
3. 担任とフリーの養護の行き届いた保育 担任とフリー(パート)保育者が保育理念を 基に、対話をしながら、より良い保育に努 める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の保持及び情緒の安定」を図るという目標を下 に、こどもの育ちやクラスの様子を、フリー保育者に 丁寧に伝えることを意識した。年度末の面談では、フリ ー保育者から、こども一人ひとりに寄り添い、個性を大 切にした保育がされていること、また、相談しやすく、働 きやすいという声上がり、関係性がより深まったと感 じた。

<p>4. 保護者同士のつながりの充実</p> <p>年に2回の保護者懇談会では、園と保護者だけでなく、保護者同士の関係性が築ける内容を考え、子育ての充実にもつなげる。</p>	<p>自己紹介やグループワークを通して、普段なかなか会えない、保護者同士の親睦を深めてもらうことができた。また、保育内容を丁寧に伝えることで、こどもの発達段階や保育理解にも繋げることができた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>一人ひとりが、目標を意識して取り組んだことで、成果が出たと感じる。1に関しては、引き続き目標におき、中堅保育者を中心に、若手保育者の育成に努めたい。</p>

5、今後取り組む課題

課題	目標
こども理解	<ul style="list-style-type: none"> ・個々を大切に、一人ひとりの心に寄り添った保育を行う。 ・こどもの主体性を大切にし、保育者主導ではなく、こどもの発見や喜びに共感し、丁寧に見守ることを大切にする。
幼稚園との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児以降の育ちにも目を向け、幼稚園の保育も参考にし、取り入れられることを考え、環境や遊びの充実に繋げる。
保護者との相互理解	<ul style="list-style-type: none"> ・いちにち先生、グループ参観などでは、積極的に参加を促し、保育を理解してもらう。 ・連絡帳や日々の伝達の中で、こどもが体験したことや思い、それがどう成長に繋がるかなど、丁寧に伝え、相互理解に努める。
若手保育者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新任と中堅のペアを作り、定期的にグループワークやペア面談を行い、若手保育者の育成に努める。
環境美化・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に努めると共に、定期的に玩具のチェックをすることで、危険個所を園全体で周知し、安全に過ごせる環境を作る。